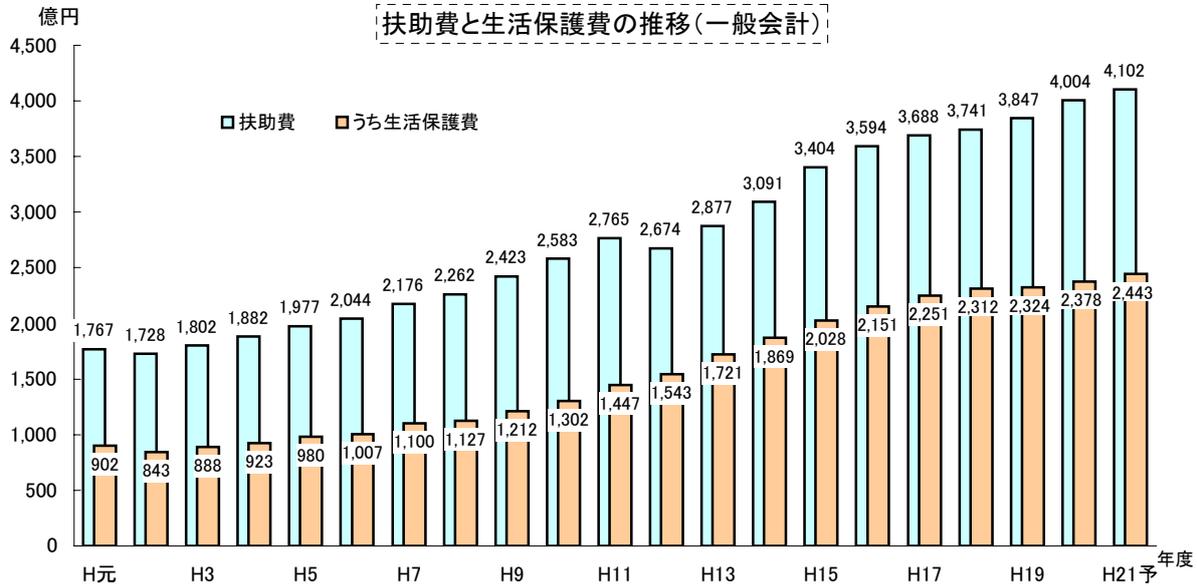


③ 扶助費

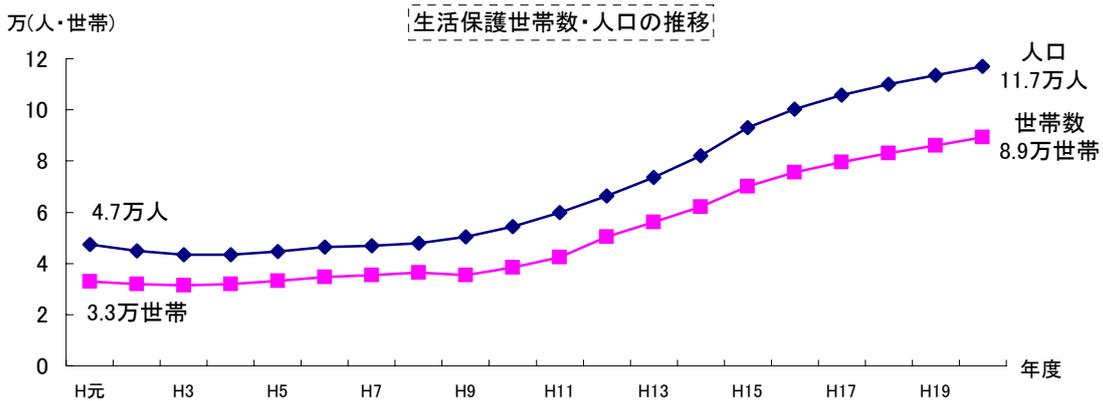
➤ 扶助費のうち約6割を占めている生活保護費は、生活保護人口の増等により増加を続けています。



扶助費と生活保護費の推移(一般会計) (億円)

	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11
扶助費	1,767	1,728	1,802	1,882	1,977	2,044	2,176	2,262	2,423	2,583	2,765
うち生活保護費	902	843	888	923	980	1,007	1,100	1,127	1,212	1,302	1,447

	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20予	H21予
扶助費	2,674	2,877	3,091	3,404	3,594	3,688	3,741	3,847	4,004	4,102
うち生活保護費	1,543	1,721	1,869	2,028	2,151	2,251	2,312	2,324	2,378	2,443



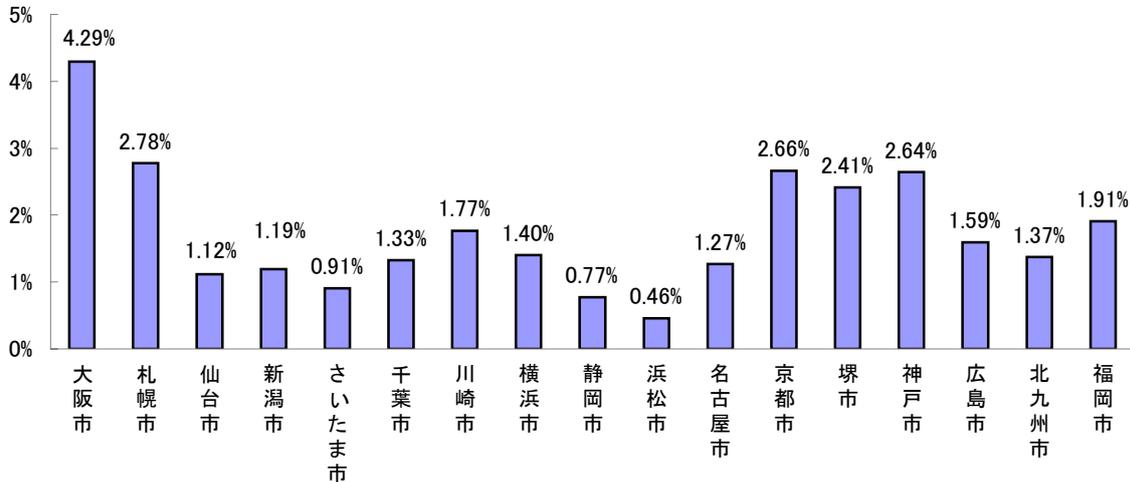
生活保護世帯数・人口の推移

	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10
世帯数	32,846	31,837	31,485	31,954	33,286	34,801	35,431	36,510	35,447	38,408
人口(人)	47,458	44,936	43,523	43,444	44,704	46,360	46,901	47,946	50,423	54,499

	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20
世帯数	42,436	50,381	56,067	62,135	70,162	75,667	79,585	83,084	86,022	89,410
人口(人)	59,901	66,299	73,672	81,976	93,033	100,390	105,766	110,141	113,467	117,056

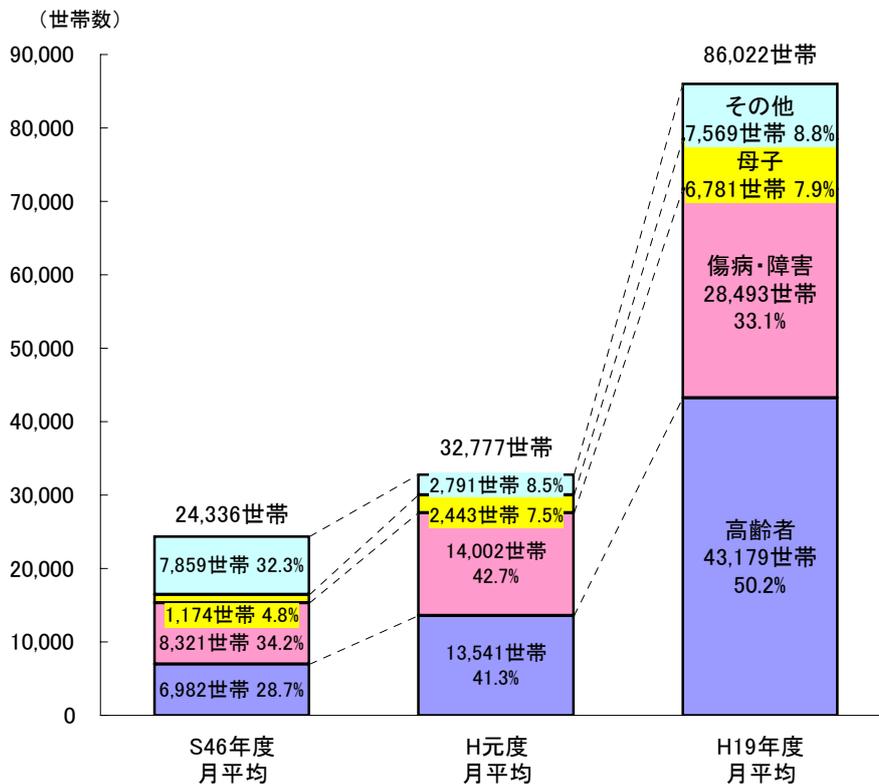
➤ 本市の生活保護を受ける人の割合(保護率)は、大阪市人口の約4.3%となっており、指定都市のなかで、最も高くなっています。

保護率の他都市比較(平成19年度)



➤ 生活保護世帯の約半数が自立が困難と考えられる高齢者世帯であるなど、生活保護制度が創設から半世紀を経過し、制度疲労を起こしている状況にあることから、抜本的な改正を引き続き国等に求めています。

世帯類型別被保護世帯数の推移



(*)世帯区分は、昭和46年度より調査実施